

仕 様 書

1 名称及び数量

- (1) シンチレーションサーベイメータ
- (2) GM管式サーベイメータ
- (3) 電離箱式サーベイメータ

2 仕 様

(1) シンチレーションサーベイメータ

① 規 格

J I S Z 4333 (2014) に適合しており、日本の産業標準化制度における次の手続きのいずれかが行われていること。

ア J I S マーク表示制度における国に登録された認証機関による認証

イ J I S Q 1000 (2005) に基づく自己適合宣言

ウ 試験事業者認定制度における国に認定された試験事業者による J N L A 標章付き試験証明書の交付

② 測定線種

γ線

③ 検出器

N a I (T l) シンチレータ

④ 用 途

線量当量率及び計数率測定用であること。

⑤ エネルギー特性

±15%以内 60 K e V ~ 1.5 M e V (¹³⁷C s を基準)

⑥ 値の表示

次の単位で表示できること。また、表示単位の切替をプッシュスイッチ又はタッチパネルで行えること。

ア 1 c m 線量当量率: μ S v / h

イ 空気吸収線量率: μ G y / h

ウ 計数率: s^{-1}

⑦ 測定範囲

ア バックグラウンド ~ 30.0 μ S v / h

イ バックグラウンド ~ 30.0 μ G y / h

ウ 0 k s^{-1} ~ 30.0 k s^{-1}

⑧ 測定エネルギー範囲

ア 線量率: 50 k e V ~ 3 M e V

イ 計数率: 50 k e V 以上

⑨ 表 示

ア デジタル表示があること。

イ アナログ又はバーグラフ表示があること。

ウ 電池残量の表示又は電池容量低下時の警告表示があること。

⑩ 電 源

ア 一次電池使用

イ 使用者による電池交換が可能であること。

ウ 電源の入切操作ができること。

⑪ 使用環境

ア 温度が -10°C ~ 40°C で使用できること。

イ 湿度が 90% R H 以下で使用できること。

⑫ サイズ

一辺の最大長が、概ね 250mm 以下 (プローブ含む) であること。

⑬ 付属品

以下のものを、納入物品全数に付属すること。

ア 専用の収納ケース

イ 日本語表記の以下の書類

・ J I S Z 4511 (2018) 準拠の校正を行った証明書

・取扱説明書

- ・簡易取扱マニュアル（上記取扱説明書とは別に作成すること。また、その内容については道担当者と協議の上、決定すること。）
- ・保証書

（２）GM管式サーベイメータ

① 規 格

J I S Z 4329（2004）に適合しており、日本の産業標準化制度における次の手続きのいずれかが行われていること。

ア J I S マーク表示制度における国に登録された認証機関による認証

イ J I S Q 1000（2005）に基づく自己適合宣言

ウ 試験事業者認定制度における国に認定された試験事業者による J N L A 標章付き試験証明書の交付

② 測定線種

β 線

③ 検出器

GM計数管（検出器窓直径 50mm以上）

※入射窓の前面に保護格子を設けること。

④ 用 途

表面汚染検査用であること。

⑤ 値の表示

次の単位で表示できること。また、表示単位の切替ができること。

ア 計数：カウント表示

イ 計数率： min^{-1} 表示

⑥ 測定範囲

ア $0\sim 100\text{ km i n}^{-1}$

イ 表面汚染密度 120 B q/c m^2 （O I L 4 の初期値）及び 40 B q/c m^2 （O I L 4 の 1 か月後の値）を測定できること。

ウ O I L 4 が入射窓面積 20 c m^2 の検出器を利用した場合の計数率で表されているため、入射窓面積 20 c m^2 相当の計数率への換算方法について、簡易取扱マニュアル等を示すこと。

⑦ 表 示

ア デジタル表示があること。

イ アナログ又はバーグラフ表示があること。

ウ 電池残量の表示又は電池容量低下時の警告表示があること。

⑧ 電 源

ア 一次電池使用

イ 使用者による電池交換が可能であること。

ウ 電源の入切操作ができること。

⑨ 使用環境

ア 温度が $-10^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$ で使用できること。

イ 湿度が 90% R H 以下で使用できること。

⑩ 本体質量

2.0 k g 以下（プローブ含む）であること。

⑪ サイズ

一辺の最大長は 230 mm 以下であること。

⑫ 付属品

以下のものを、納入物品全数に付属すること。

ア 専用の収納ケース

イ 汚染密度の換算係数シール（測定器の側面に貼付すること）

ウ 日本語表記の以下の書類

- ・ J I S Z 4329（2004）準拠の校正を行った証明書

- ・ 取扱説明書

- ・ 簡易取扱マニュアル（上記取扱説明書とは別に作成すること。また、その内容については道担当者と協議の上、決定すること。）

- ・ 保証書

（３）電離箱式サーベイメータ

① 規 格

J I S Z 4333（2014）に適合しており、日本の工業標準化制度における次の手続きのいずれかが行われていること。

ア J I S マーク表示制度における国に登録された認証機関による認証

イ J I S Q 1000 (2005) に基づく自己適合宣言

ウ 試験事業者認定制度における国に認定された試験事業者による J N L A 標章付き試験証明書の交付

② 測定線種

γ線

③ 検出器

円筒形電離箱

④ 用 途

線量当量率測定用であること。

⑤ 測定範囲

ア $1\mu\text{Sv/h} \sim 300\text{mSv/h}$

イ $0.3\mu\text{Sv} \sim 10\text{Sv}$

⑥ 表 示

ア デジタル表示があること。

イ アナログ又はバーグラフ表示があること。

ウ 電池残量の表示又は電池容量低下時の警告表示があること。

⑦ 電 源

ア 電源として、乾電池を使用できること。

イ 使用者による電池交換が可能であること。

ウ 電源の入切操作ができること。

⑧ 使用環境

ア 温度が $0^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ で使用できること。

イ 湿度が 90% R H 以下で使用できること。

⑨ サイズ

一辺の最大長が、概ね 230mm 以下であること。

⑩ 付属品

以下のものを、納入物品全数に付属すること。

ア 専用の収納ケース

イ 日本語表記の以下の書類

・ J I S Z 4511 (2018) 準拠の校正を行った証明書

・取扱説明書

・簡易取扱マニュアル（上記取扱説明書とは別に作成すること。また、その内容は道担当者と協議の上、決定すること。）

・保証書